

あいかわ自然観察会 8月



- ◆事業目的：①ファミリーコミュニケーション運動にあわせて、家族や子どもたちのふれあいをはかる。
②村の自然とその四季による変化を知る。
③生き物のつながりを知り、身近な自然に目を向けるきっかけとする。

◆参加者数：13名

◆気温 30 度を超える中、13名の参加者とともに愛川ふれあいの村の自然を楽しみました。エンジュの花を見て「あの白い塊、なにかしら？」と質問から始まりました。虫取り網を持った少年は虫を捕まえることに夢中になっていましたが、その知識量は目を見張るものがあります。暑さのせいか活発に活動する生き物はおらず、じっとしている虫や抜け殻、その場を動かない花（ウバユリやキツネノカミソリ）などの観察となりました。メタセコイアについて無数のセミの抜け殻からセミの力強さを感じたり、子を守るカメムシからは親の愛を感じたりもしました。来月はもう少し涼しくなると思います。初秋の愛川を楽しみにしてください。

(文責：石川)

担当スタッフ：石川、吉田